音楽科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	音楽科	学年・組	第３学年５組	場所	４階　音楽室
単元名	歌詞の内容を理解し、歌唱表現を工夫しよう　　合唱曲「糸」　　（第２時／全３時）				
本時の目標	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りを理解し、歌唱表現を工夫して歌う ・音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組む				
本時の評価規準	・曲想と音楽との構造や歌詞の内容との関りを理解している ・旋律、強弱、曲の特徴や雰囲気を感受し、歌唱表現を工夫している ・音楽活動を楽しみ、主体的、協働的に学習活動に取り組もうとしている				

本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて
	思考・判断・表現	・内容から感じ取ったイメージを理解し、思いや意図をもって表現の工夫につなげている	・曲の雰囲気を感じ、歌詞や曲想をいかした工夫をしている	・楽曲に対する、自分のイメージや考えを持てるよう声かけをする
	主体的に学習に取り組む態度	・工夫した表現をするため、言葉の発音や強弱を工夫している	・主体的、協働的に活動している ・強弱や言葉の扱いの工夫をしている	・パートでの対話を促す

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	歌詞の内容や曲の特徴を捉え、思いが伝わる歌唱表現を工夫しよう　【探究・思考型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	*教材観、生徒観、指導観を含む。 作詞、作曲者「中島みゆき」の楽曲は常に時代をリードし、親しみやすく世代を超えて歌い継がれている。合唱曲「糸」は不安な時代を生きていく中、歌詞の中に優しさや温かみも感じられる名曲である。 単に歌うのではなく深い歌詞の意味や作曲者の思いを読み取り、感じたことや思いを表現できるように取り組めるようにしたい。落ち着いて授業を受けることができる生徒たちではあるが、歌う時や意見を出す際など常に周りを気にし、受け身で消極的である。この学年は、1年次より学年合唱コンクールを行ってきた。「糸」は今年度の３年合唱コンクール課題曲に考えている。 歌唱活動において、これまで「姿勢、目線、発音」を基本に指導してきた。本時は学級での合唱練習の導入としての学習をおこなう。曲の内容や深い歌詞を理解し、生徒が自発的に心の中からの思いが聞き手に伝わる音楽表現を目指す指導ができればと考える。

２．期待する振り返りの好例（めあてをふまえて）

・歌詞や曲想を味わい、考え、進んで取り組むことができた。

・旋律、強弱等と、歌詞や曲の背景、イメージなどと関連付けることができた。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①　曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りを理解している ②　創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に着ける	①　旋律、強弱を知覚し、曲の特徴や雰囲気を感受しながら、知覚したこととの関りについて考え、思いや意図をもっている	①　曲想と音楽の構造や歌詞の内容などに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に学習活動に取り組もうとしている

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点
1	・作曲者の思いや曲の背景を知る ・歌詞の内容や曲想を感じ取る ・ユニゾン部分を歌う。	知①　記述・観察 態①　記述・観察
2 本時	・前時を振り返り、パートの音程をとる。 ・曲の特徴や歌詞を基に曲にふさわしい表現の工夫を考える。 ・キーワードとなる歌詞の意味の理解。 ・声の出し方、言葉の発音などの関係を意識して歌う	知①　記述・歌唱 知②　歌唱 思①　観察 態①　記述、観察
3	・歌詞と曲想の関わりを感じ取る。 ・歌詞を比較し表現を工夫する。 ・旋律や強弱など意識し表現を工夫する	思①　記述・観察 態①　記述・発言

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
導入 （１５分）	ウォーミングアップ、校歌斉唱。 １，めあての確認 歌詞を読む。　パートの復習	姿勢、目線、発音に気を付ける。 ・前時を振り返り、楽曲の持つ雰囲気やイメージを思い浮かべ歌う。 プリント記入（曲の特徴をつかむ）	態　① 前時までを振り返り、曲にふさわしい歌い方をしているか。

めあて：歌詞の内容や曲の特徴を捉え、思いが伝わる歌唱表現を工夫しよう

展開１ （１５分）	２，めあてに向けての活動。 ①　キーワードとなる歌詞の意味にはどんな思いが込められているだろうか。 ②　音のダイナミクスの確認。 ③　ふさわしい表現や歌詞に合う歌唱表現に必要なのは？	・強弱や言葉の意味（キーワード）や発音に注意して曲にふさわしい表現を考える。　＊強弱 ＊歌詞の発音 ・単調にならないようにするためには？ ＊○○に気を付ける ○強弱や歌詞にふさわしい表現について話し、表現を求めることができるようにする。	思　① 楽曲の内容から感じ取ったイメージを表現の工夫につなげているか。
展開② （１０分）	④　パートの役割を考える。 ・１、２番との対比について ・変拍子について	・パートの役割を考える （主旋律、オブリガート、ハーモニー） ○曲の雰囲気について話しながら歌詞や曲想を生かした工夫ができるようヒントを与える。 ○ 変拍子の感じ方（指揮で）	態　① 主体的、協働的に活動にとりくんでいる。
まとめ （１０分）	３、まとめる **歌詞に合う歌唱表現にするために抑揚（言葉の発音）や強弱に気をつける。** 4、学習したことを振り返る。 ・全曲を通してうたう。	・強弱、発音、パートの役割を考え、それらを生かして歌うよう促す。 ・生徒の歌いはじめたときからの変化や思いを伝える。	